

## 第 24 期理事会議事録

日時:2012 年 10 月 20 日(土) 10:00~12:45

会場:産業医科大学 産業医実務研修センター

出席者(五十音順):

宮本(会長)

荒武(幹事), 石川(東海), 上田(監事・選管), 江口(会計), 加藤(関東), 河津(近畿), 後藤(総務), 佐藤(学術), 樋上(研修・教育, 櫻風会), 堀野(九州), 森(大学), 山崎(広報), 山瀧(広報), 大和(医学部同窓会), 吉積(全国大会)

大神(オブザーバー), 坂本(オブザーバー)

### 1. 会長挨拶(宮本)

・河野 公俊学長より、産推研全国大会と産業医科大学学会との共催への強い要望がある。今年度については九州地方会長の権限で承認した。今後については 2008 年の「産業医学推進研究会のあり方に関する検討委員会」答申も踏まえた上、本理事会で検討する。

→ 本議事録の「9. その他」を参照

### 2. 会計報告(江口)

#### 1)第 23 期決算

- ・今期は 109 万円の黒字となった。
- ・震災関連活動に対して、大学から 100 万円の助成金を受けた。

#### 2)第 24 期予算

- ・前期は年会費滞納者からの納付が多かった。今期予算は例年通り納付率 80%として算出している。
- ・地方会において支出が超過した場合は、余剰金を当てる。なおも不足する場合は、理事会で審議の上補填する。

→ 第 23 期決算および第 24 期予算は総会で承認された。

#### 3)退会

- ・年会費 3 期分未納者 28 名について、2012 年 10 月末で未納の場合は退会とする。

### 4. 部会報告

#### 1)学術(佐藤)

- ・「若手労働者のメンタルヘルスに関する調査」について、アンケート調査への協力依頼があった(事前の持ち回り理事会で承認済み)。

## 2) 広報部会(山崎, 山瀧)

- ・ロゴマークについては、商標登録および使用範囲を含め、検討を継続する。
- ・関東地方会と全国大会では、広報に facebook を活用している。
- ・非会員卒業生で産業保健に携わっている方に対し聞き取り調査を行う。
- ・入会方法が分からないという声があるため、入会案内パンフレットを作成し、医学部同窓会誌郵送時に同封してもらう。

## 5. 地方会報告

### 1) 関東地方会(加藤)

- ・2011年12月23日に研究会を開催。参加者34名。
- ・2012年7月7日に研究会を開催。参加者22名。
- ・会長が加藤先生から坂本 宣明先生(19回生)に交代した。

### 2) 東海地方会(石川)

- ・2012年2月24日に研究会を開催。参加者17名。
- ・2012年9月1日に研究会を開催。参加者22名。
- ・第25回全国大会は2013年9月28日(土)午後に開催する。実行委員長は石川 浩二先生(東海地方会会長, 三菱重工業, 13回生)。

### 3) 近畿地方会(河津)

- ・2011年10月1日に研究会を開催。参加者21名(河野 公俊学長を含む)。
- ・2011年12月10日に研究会を開催。参加者19名。
- ・2012年4月14日に研究会を開催。参加者25名
- ・2012年6月23日に研究会を開催。参加者25名。
- ・研究会への参加者が少ない。他地方会の会員も参加してほしい。

### 4) 九州地方会(堀野)

- ・2012年2月25日に研究会を開催。参加者57名(産推研会員29名)。
- ・2012年6月16日に研究会を開催。参加者29名(産推研会員15名)。

## 6. 第24回全国大会報告(吉積)

- ・参加者184名(卒業生96名, 来賓・大学関係者25名, 学生63名)。
- ・初めて産業医科大学学会との共催を行う。産業医科大学学会の活性化や、産推研全国大会では臨床医や研究者との交流が図れる等、双方にとってメリットがあると考えられる。
- ・若い世代を運営の中心とし、ベテラン層はアドバイザーの立場とした。

## 7. 同窓会からの報告

## 1) 医学部同窓会(大和)

- ・遠方の役員が理事会・評議員会に参加出来るように、会則を変更し、メール会議等を併用することにする(同日の医学部同窓会総会で承認された)。
- ・産推研の全国大会や地方会で、非会員の卒業生が懇親会に参加する際の差額を、同窓会で補填する。利用があった場合は、同窓会誌に地方会報告を掲載する際に一言ふれていただきたい。
- ・2012年10月1日より、産業医科大学図書館が学外の卒業生向けに文献複写サービスを開始した。医学部同窓会と櫻風会が共同で10万円拠出しており、当面は無料で利用できる。
- ・熊本赤煉瓦の会が発足した。各地の同窓生の親睦会の結成を促進していきたい。

## 2) 櫻風会(樋上)

- ・2012年8月18日、ホテルクラウンパレス北九州において第24回総会を開催した。

## 8. 大学からの報告(森)

- ・2012年4月に国際交流センターを設置した。大学全体で一層の国際交流を図っていく。
- ・大学院では、危機管理の研究を行うことで文部科学省の予算を確保できるように準備をしている。
- ・医学部6年生で専門産業医コースI(従来のA/Bコース)へ進む者は12名と少ない。
- ・学生が進路を選択するより前に、進路指導部から各講座の進路指導担当者に対し、説明会を実施することが検討されている。
- ・産業衛生学専攻(修士課程)の設置に向けた準備が進んでいる。看護学専攻(修士課程)の設置も検討しているが、資格のある指導教員の確保が課題になっている。
- ・「産業医学実践研修」のプログラムのうち、産業医を対象としたプログラムには多くの産推研会員に参加してもらいたい。また今後、産推研枠プログラムの設定を検討しているので、現場のニーズに合ったプログラムを提案してほしい。

## 9. その他

### 1) 産業医科大学学会との共催(宮本)

- ・2012年度より九州で隔年開催し、産業医科大学学会と共催する。
- ・全国大会主催は、2012年度より九州、東海、九州、関東、九州、近畿の順で反復する。  
→ 内規4を改正する。
- ・学会プログラム内に産推研枠を2時間設定してもらおう。内容については、研修・教育担当理事がプロジェクトチームを作り企画する。
- ・懇親会は産業医科大学学会、医学部同窓会、櫻風会、アリスの会との共催とする。

注:一般公開版のため、本来の議事録を一部改編しています。